

頓死

夕暮の海岸

僕だけしかゐない

波打際の流木の上にテープレコーダーを置いて

僕は一服

A面には ある禅寺の勤行

太鼓と鐘と青年僧の読経

いま その裏側に 刻々 波音が記録されてゐることであらう

崩れる波

息をのみこむやうにしてふくれあがり

三段にも 四段にも 音たてて

レースのやうにひろがり 散らばつてゐる

新月も見えはじめたが

夜陰ともなれば如何なることになるのか

「大統領の陰謀」によるとニクソンは

録音テープによつて自ら墓穴を掘つたといふ

僕には失ふべき何物もない

ひき返すうすい海水は斜めに流れ

上げ潮になつてゐるらしい

再生するのがたのしみだ

しかし その時

≫天地の秘事盗聴は不埒！

流木の下に砂が削り去られてゐたのだ

流木が僅かに動き くるりとゆらぎ

流木の上のものが落ちた

塩水が入りこんで テープは止まり

ボタンも 蓋も びくともしない

駄目になつたのは 僕か

ああ テープレコーダー君